

第1回 稚内市庁舎建設庁内委員会

委員の皆様からの主な質疑・意見等一覧

- 建設コストを考えた際に、建替えるべきだと思うが、建て替えの手法として、P F Iのようなものは検討されたのか。
⇒（市の回答）事業手法については、それぞれのコストを比較しながら、今後検討していく。
- I Tが進化している中、住民票が様々な場所で受け取れるようなことは検討しているのか。
⇒（市の回答）市民サービスの充実は必要である。そういった点も踏まえ、新しい庁舎の機能を検討していく。
- 庁舎はまちの顔であるし、地域活性化にも繋がる可能性があるため、中央地区の活性化に向けて期待している。また、それに付随して、民間が投資できるような環境作りができれば、さらに中央地区の活性化も望めると思っている。
- 今後50年に1回の大きな事業なので、次の世代が本当に使いやすく、“稚内のまちは良いな”“稚内に住みたいな”と思えるような、稚内の顔にしていけたらと思う。
- 近年、全国で災害が起きている中、現庁舎は老朽化も進んでいるため、1日も早く建設に向けて検討を進めてもらいたい。
- 現在の市役所は中央地区にあり、周辺にはJ Rの駅や道の駅、文化センター、北海道遺産の北防波堤ドーム、中央商店街もある。これらの機能が集中しているので、うまく融合し、互いに地域の活性化に向けて連動しあえるとよい。
- 稚内市は環境都市宣言もしており、自然エネルギーの取り組みが非常に進んでいるので、新庁舎も省エネルギー性能の高い建物を整備してほしい。最近ではZ E B（ゼロエネルギービル）を目指した建物が増えているので、ぜひ稚内の庁舎もZ E Bのようなものを目指してほしい。
- 50年に1度の建替えなので、単に庁舎の建物の建替えということではなく、30年、40年後を見据えて、このまち、あるいはこの中央地区のグランドデザインの代表的な建物という位置づけで考えていきたい。なおかつ、それが中央地区の民間投資の呼び水になればということも期待して検討していきたい。
- 年間120万人が訪れているキタカラからの、人の流れを考えていきたい。
- 市役所は常に市民の役に立つところという視点を持って検討していきたい。

- 毎日通って仕事をしている職員の方々が、満足のいく仕事ができる環境整備も必要であると思う。
- 新庁舎に木材を活用し、温もりのある庁舎にしていきたい。
- バリアフリー化やユニバーサルデザイン化は当然のことと思うが、車椅子などの障がいの在る方は市役所に訪れることも困難なため、公共交通の整備も併せて進めてもらいたい。高齢化も進んでいくので、その点についての検討も必要であると思う。